

COMME ÇA DU MODE

ベビーカー SS-R

取扱説明書

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

また、本書は大切に保管してください。

取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。

本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



安全基準 A 型

(1ヵ月～24ヵ月まで)

目次	●ご使用の前に……………1	●キャストの使いかた……………11
	●安全にお使いいただくために	●リクライニングの使いかた……………12
	△ 警告……………1	●2ウェイ幌の取り扱いかた……………13
	△ 注意……………3	●トップウィンドー(幌窓)使いかた……………14
	●各部のなまえ……………4	●ショルダーストラップの使いかた……………14
	●本体の開きかた……………5	●本体の折りたたみかた……………15
	●フロントガードの使いかた……………6	●日常のお手入れ……………16
	●足のせの使いかた……………6	●保管のしかた……………17
	●買い物カゴの取り扱いかた……………7	●点検とアフターサービスについて……………17
	●シートベルト(股ベルト・腰ベルト)の使いかた……………8	●廃棄方法について……………17
	●ソフトサポートベルトカバーの使いかた……………9	●便利なオプション品(別売り)……………17
	●着脱シートの取り扱いかた……………10	●品質保証書……………18
	●ストッパーの使いかた……………11	●SGマークの被害者救済制度……………18

ご使用の前に

- この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 対象年齢：生後1ヵ月※以上24ヵ月以内（お子さまの発育により個人差があります）
※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヵ月経過した乳児を示します。
- 望ましい連続使用時間：2時間以内（ただし、7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内）
- 組み立てる前に、18ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
- ロットNo.（後脚後側に貼ってあるシールに記載されています。）
- お客様のお名前・ご住所・電話番号
- 販売店名

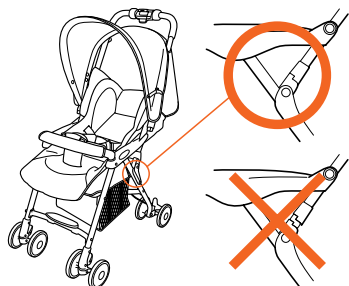
安全にお使いいただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。
製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が重大な損害を被るおそれがあります。
よくお読みの上、製品をご使用ください。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いの結果生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると重大な

乳幼児が落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- 開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。



●ロックがかかっている
開閉ロックが下がって
間に空きがない。

●ロックがかかっていない
開閉ロックが上がって間に
空きがある。

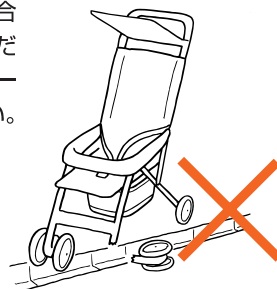
- 乳幼児を乗せたままフロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりするおそれがあります。



- 階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場/砂浜/河原/ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 破損/異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。



乳幼児が落ちるおそれがあります。

- 股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。
- 乳幼児は思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。
目を離さず十分注意してご使用ください。



- 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。



警告 誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意 誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。



警告 / 注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。

事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちるおそれがあります。

- 乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。



- ベビーカーに同時に2人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外の所に乗せないでください。



- ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。

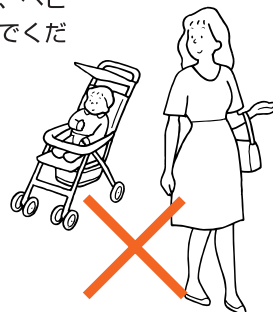


ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

- ストッパーを過信しないでください。
ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。



- 乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



- ベビーカーは空車であっても坂の途中 / 車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



安全にお使いいただくために

⚠ 注 意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

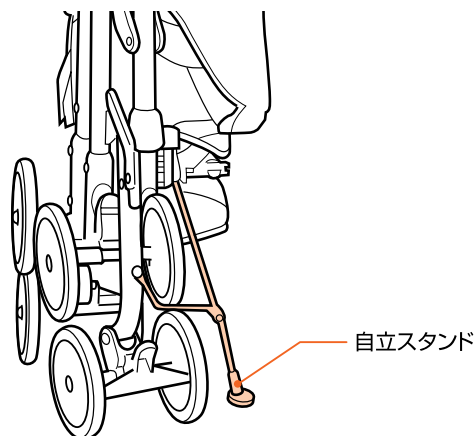
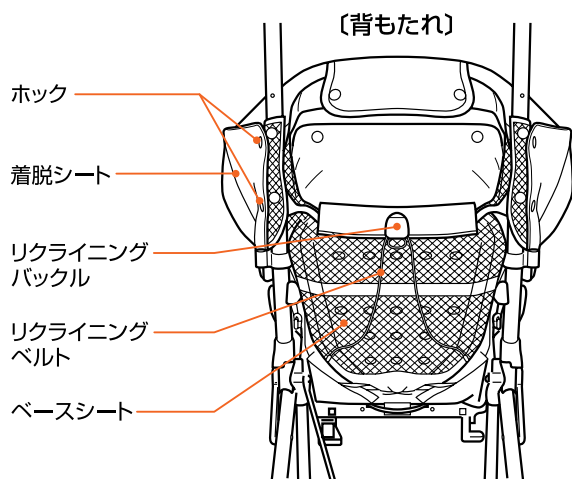
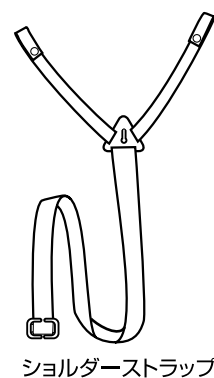
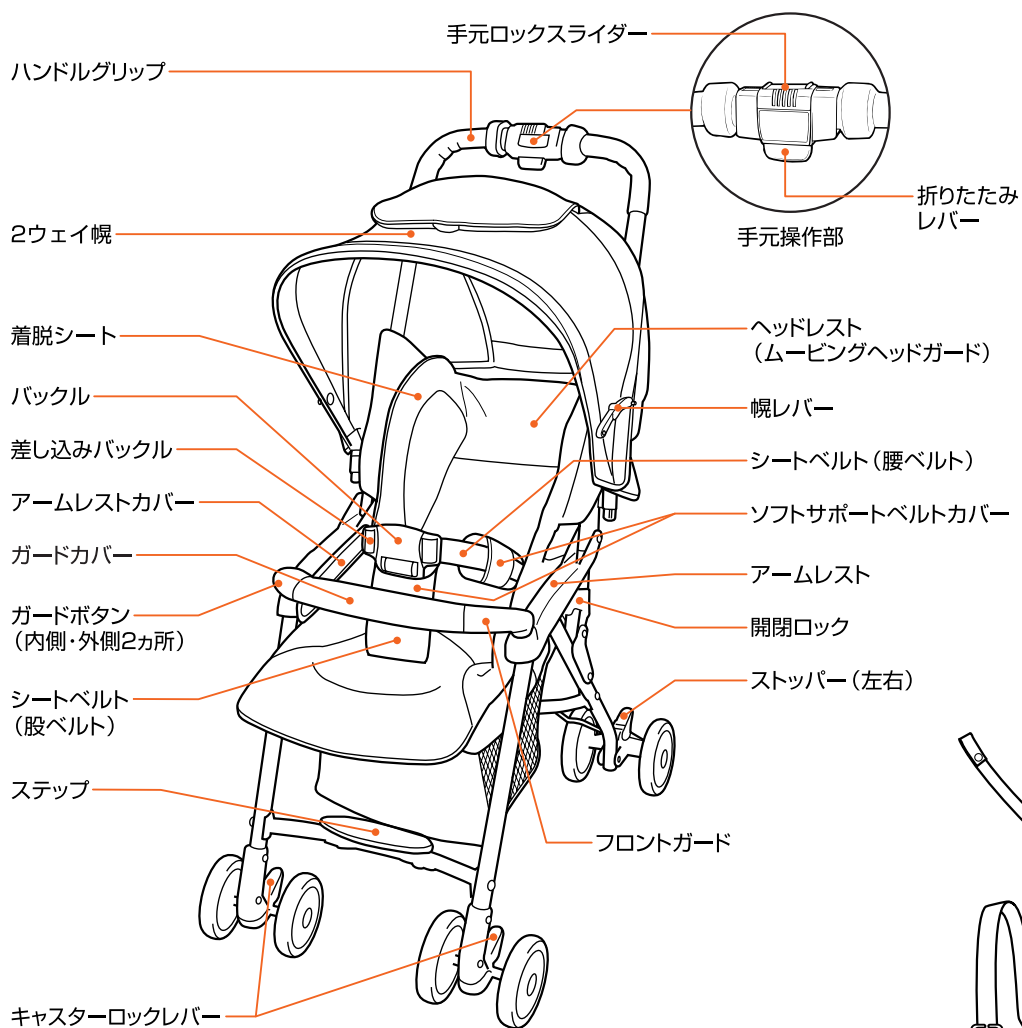
- 乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。
すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。
指をはさんだりするおそれがあります。
- 乳幼児の乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。
ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべて落下するおそれがあります。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。
破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
- 乳幼児を乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。乳幼児が抜けだしたり、落下するおそれがあります。
- 乳幼児がお座りできるようになるまでは、リクライニングを一番倒した状態でお使いください。
- 乳幼児の頭がヘッドレストに当たる場合は、ベッドの状態で使用しないでください。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。
破損の原因となります。
- 買い物カゴには5 kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 踏切を渡るときは、線路の溝に車輪を取られたり、挟まないように溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。
- 危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用前に、ネジやナットにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間使用の禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、座らせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。
本製品はバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。
本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。
お客さまの責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

(開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。)

各部のなまえ (取りはずしてある部品は本文をよく読んで取り付けてください。)

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたら全て揃っているか確認してください。

- ベビーカー SS-R 本体
- 幌
- ショルダーストラップ
- 取扱説明書 (本書)

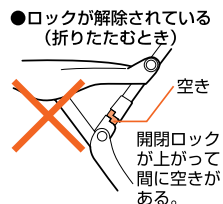
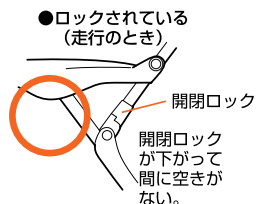


本体の開きかた



警告

- 使用する前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。(右図参照)
- 手元ロックスライダーを必ずロックして使用してください。無意識に折りたたみレバーを握ったときなど、急に折りたたまれるおそれがあります。



注意

- ベビーカーを開くときは他の人に触らせないでください。手をはさむ原因となります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際、ぶつけたり引きずったりしないでください。変形や、破損のおそれがあります。

①手元ロックスライダーを矢印の方向にずらし解除します。

②自動フックを上押ししてはずします。

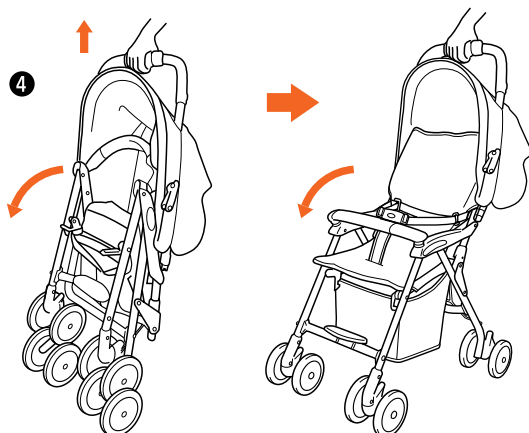
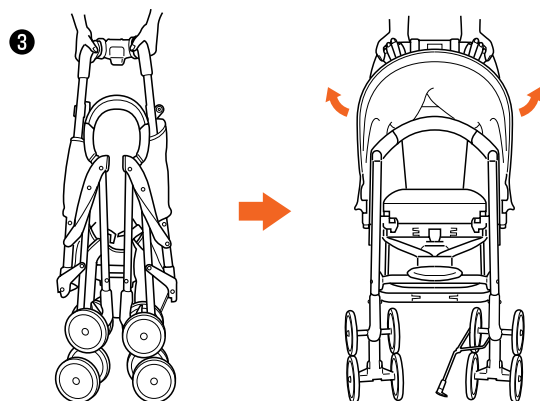
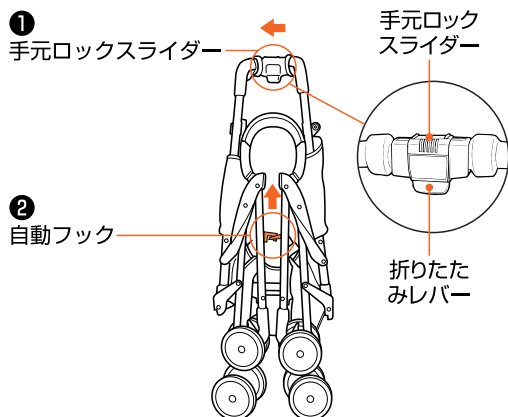
③自動フックがはずれたら、ハンドルグリップを握り手首を外に回して開きます。グリップを逆手で持つと操作が楽です。

※この状態で腰ベルトがはみ出していたり開閉ロックに引っかかりたりしていないかを確認してください。もしはみ出しや引っかかりがあれば④に移る前にベルトをシート内側に引っぱってください。

④折りたたみレバーを握りながらハンドルグリップを持ち上げるようにしますと開きはじめます。開くと自立スタンドは自動的に収納されます。

注意：本体を持ち上げた状態で折りたたみレバーを握り、本体のロックを解除しないでください。破損のおそれがあります。

⑤手元ロックスライダーを①と逆方向にずらし、ロックしてください。



フロントガードの使いかた

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかかりからず乗せ降ろしが楽にできます。



警告

- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜けだしや立ち上がりを防止するものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。



注意

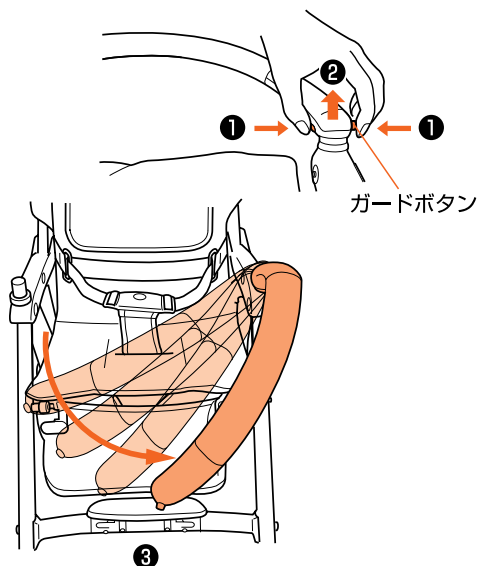
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのけがの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

フロントガードの取りはずしかた

- ①ガードの付け根にある2つのガードボタンを矢印の方向に押します。
- ②そのままアームレストからフロントガードを引き抜きます。
- ③手を放せばフロントガードは自然に下がります。

※ご注意

この製品のフロントガードは、前から見て左側のみ開閉します。
右側は取りはずすことができませんのでご注意ください。



ガードカバーの取り付けかた

フロントガードに、ガードカバーを装着します。

足のせの使いかた

足のせを出していると、お子さまが寝たとき、楽な姿勢で眠れます。



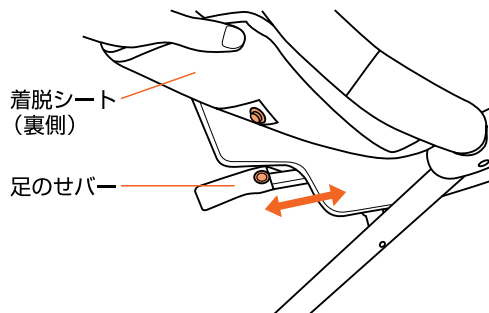
注意

使用するときには、必ずホックをとめてください。破損やお子さまのけがの原因となります。

使用するときには、シートを持ち上げ、座面にある足のせバーを
前端で止まるまで引き出します。

着脱シートをのせ必ずホックをとめます。

使用しないときは、着脱シートのホックをはずし、足のせバー
を座面の中に押し込みます。



買い物カゴの取り扱いかた

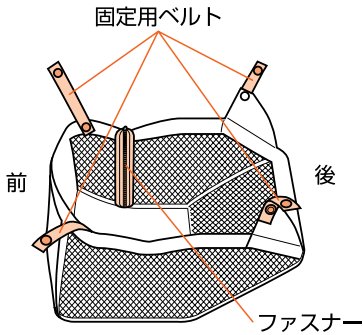


注意

- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものはいれないでください。カゴの変形および破れの原因となります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。

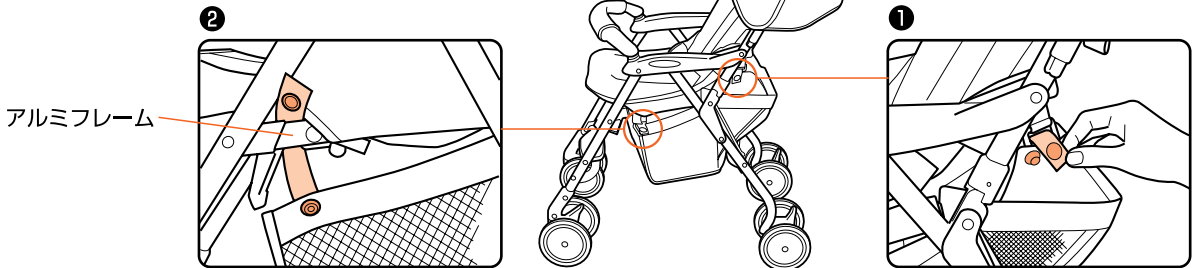
取り付けかた

- ①カゴ後部左右の固定用ベルトをアームレスト後部のベルト通しに図①のように通してホックで固定する。
- ②カゴ前部の固定用ベルトをシート側部のアルミフレームにホックで左右とも固定します。



荷物について

- できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように乗せてください。
- 荷物の出し入れには、カゴ側面のファスナーを開けると便利です。



シートベルト（股ベルト・腰ベルト）の使いかた



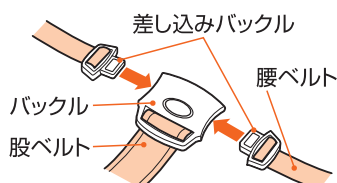
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全だと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜けだし、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体に合わせて調節し、しっかりと締めてください。

シートベルトとは、股ベルトと腰ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた、はずしかた

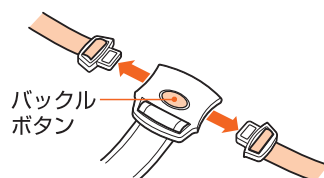
〔シートベルトを締めるとき〕

- ①お子さまの股の間から股ベルトを引き出し、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。
- ②腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認する。



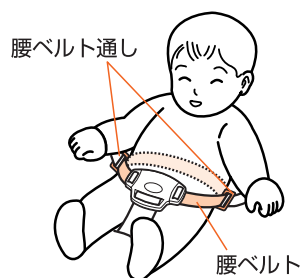
〔シートベルトをはずすとき〕

股ベルトのバックルボタンを押す。



お子さまへの装着のしかた

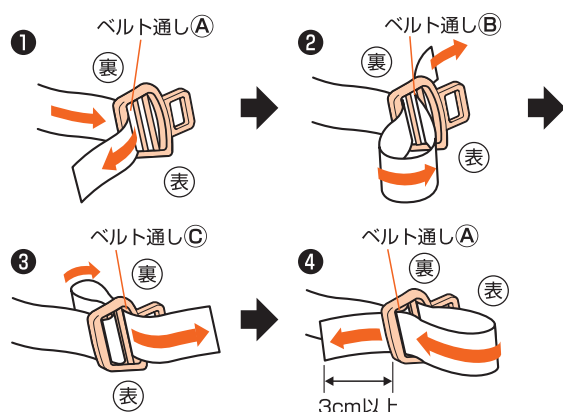
- 図のように腰ベルトは、車体からの腰ベルト通しをしっかりと通し、腰ベルトがお子さまの腰を一周するように装着してください。このとき、お子さまが抜けださないように調節してください。
- 長さ調節時にバックルをはずしたときは、図にしたがって確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全だと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- 腰ベルトを締めても抜け出そうとするような活発なお子さまの場合は、別売りの「セーフティベルト」を使用してください。着脱シート上での抜け出しや立ち上りを防ぎます。（17ページ参照）



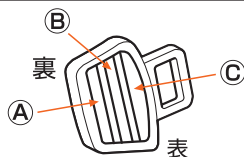
シートベルトの取り付けと調節のしかた

〔腰ベルトの取り付け〕

- ①バックルのベルト通し①Aに腰ベルトを通します。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向けて通します。
- ②バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通し②Bから裏側に通します。
- ③バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通し③Cから表側に通します。
- ④バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通し①Aから裏側に通します。（ベルト通し①Aには腰ベルトが2重に通ります）



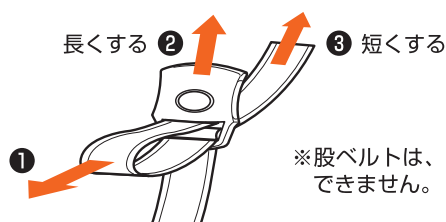
差し込みバックルの
ベルト通し(①A ②B ③C)



※腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

股ベルトの長さ調節

股ベルトの長さを調節するには、はじめに①調節したい分の長さを引き出します。長くするときには、②バックルを引っばり、短くするときには、③ベルトの端を引っばります。

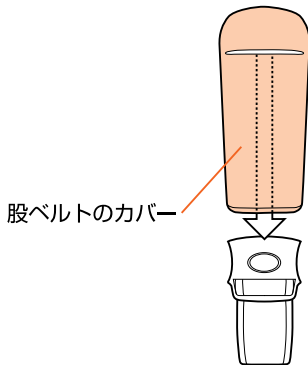


※股ベルトは、取りはずしできません。

ソフトサポートベルトカバーの使いかた

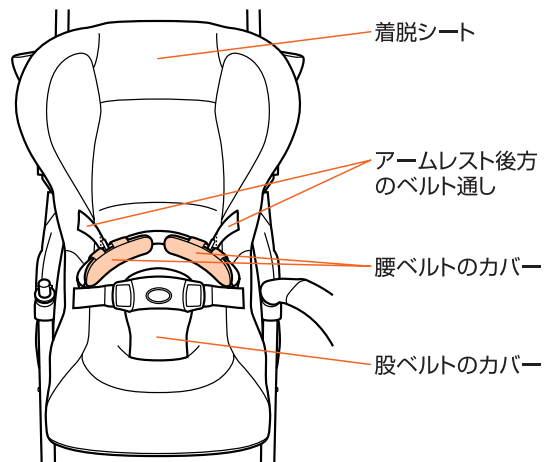
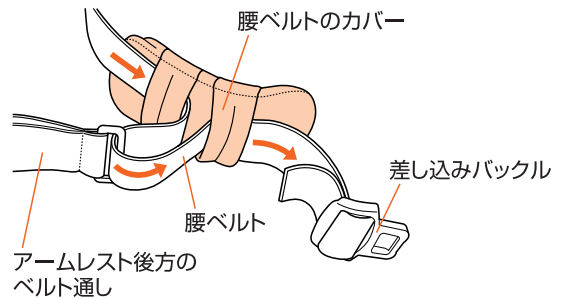
股ベルトのカバーについて

- 股ベルトのカバーの取りはずしは、バックルが付いたままカバーの内側を通してください。



腰ベルトのカバーについて

- 腰ベルトのカバーは、図のようにお子さま側にカバーがくるよう装着してください。
- 着脱シートから、アームレスト後方のベルト通しを出します。
- 腰ベルトのカバーを図のように通します。
- 腰ベルトに差し込みバックルを付ける。
(「シートベルトの取り付けと調節のしかた」8ページをご覧ください)



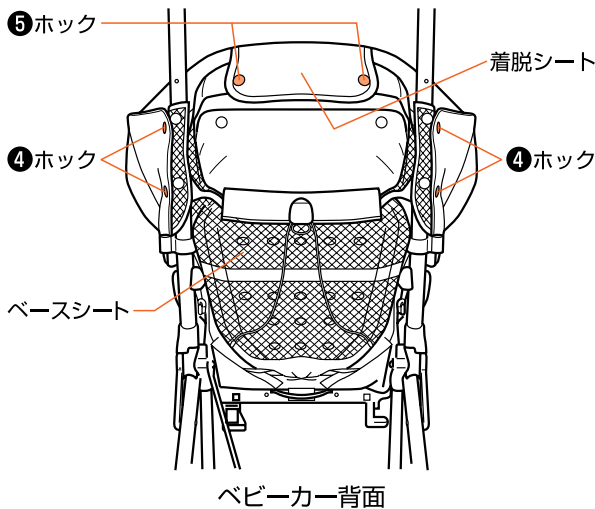
着脱シートの取り扱いかた



- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- シートを取り付ける際に、ファスナー、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどの原因となります。

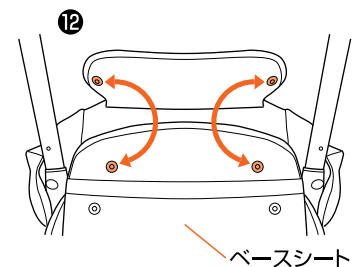
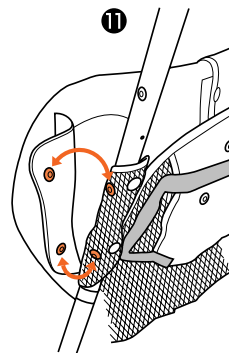
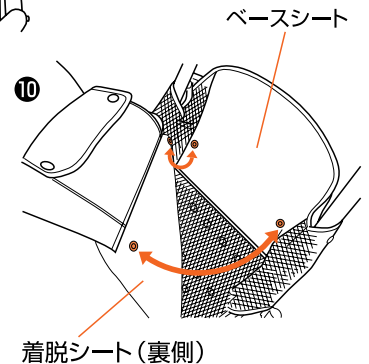
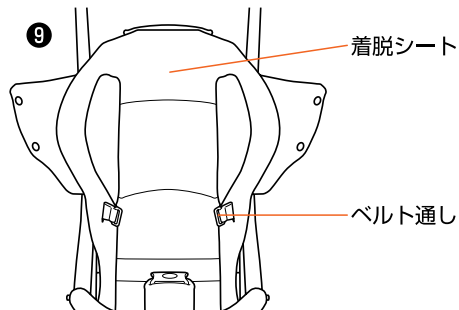
取りはずしかた

- ①足のせバーを使っているときには、シート前端のホックをはずします。
- ②股ベルトのバックルから腰ベルトの左右差し込みバックルをはずします。
- ③腰ベルトから差し込みバックルを取りはずし、アームレスト後方のベルト通しからもはずします。
- ④ベースシートのハンドルパイプ側左右4カ所のホックをはずします。
- ⑤ベースシート裏側背もたれ左右2カ所のホックをはずします。
- ⑥着脱シート裏面とベースシート座面をとめているファスナーとホックをはずして、着脱シートをはずします。



取り付けかた

- ⑦股ベルトを着脱シートの座の穴に通し、股ベルトの前のホックをとめます。
- ⑧着脱シート裏側とベースシート座面のファスナーをとめます。
- ⑨アームレスト後方のベルト通しを着脱シートに通します。
- ⑩着脱シート裏側とベースシートのホックをとめます。
- ⑪ベースシートのハンドルパイプ側左右4カ所の④ホックをとめます。
- ⑫ベースシート裏側背もたれ左右2カ所⑤ホックをとめます。
- ⑬腰ベルトは、腰ベルトのカバーとアームレスト後方のベルト通しに通し、差し込みバックルを取り付けます。(P.8参照)



ストッパーの使いかた



警告

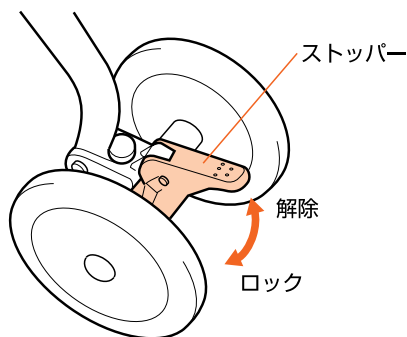
- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。



注意

- 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーのロックが不完全だと動き出すことがあります。

- 左右の後車輪の内側にあるストッパーを下におろせばストッパーのロックがかかります。ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーが正しくかかっているか確認してください。
- 解除するときは、ストッパーを上げてください。

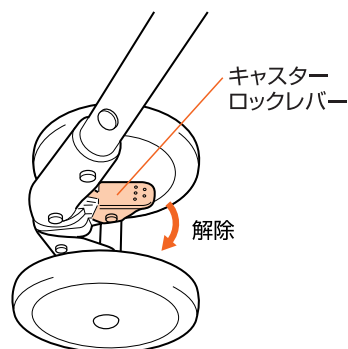


キャスターの使いかた

- キャスターを使用すると、平坦な路面を押すときに前輪の向きが変わり、スムーズに方向転換できます。
- 坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターをロックすると押しやすくなります。

キャスターを使用するとき

図のようにキャスターロックレバーを下げ、ロックを解除します。



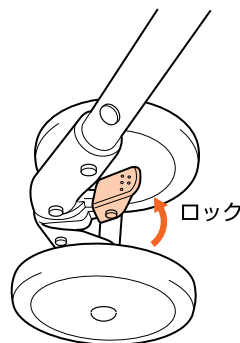
キャスターを固定させるとき

図のように、キャスターを進行方向に対して真後ろになる位置に合わせてキャスターロックレバーを上げます。

※ご注意

このベビーカーはキャスターを固定しないと折りたためない構造になっています。

ベビーカーを折りたたむときは必ずキャスターを左右とも固定してください。



リクライニングの使いかた



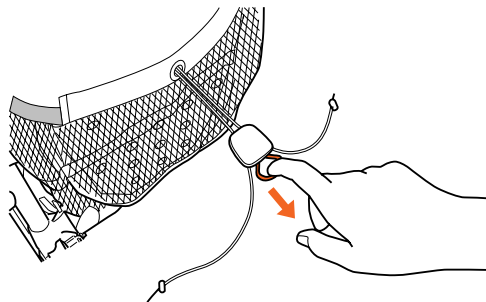
注意

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。非常に危険です。
- お子さまを乗せたまま操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、他方の手でお子さまの体重を支えてください。

背もたれを倒すとき

リクライニングバックルの中央リングを図のように引っばります。

※お子さまの頭がヘッドレストの位置までであると、リクライニングを倒したときに無理な姿勢になりますので、リクライニングはヘッドレストが起きあがってこない位置でとめてください。

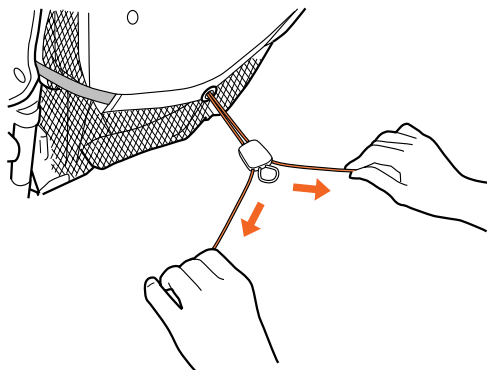


※必ず他方の手でお子さまの体重を支えてください。

背もたれを起こすとき

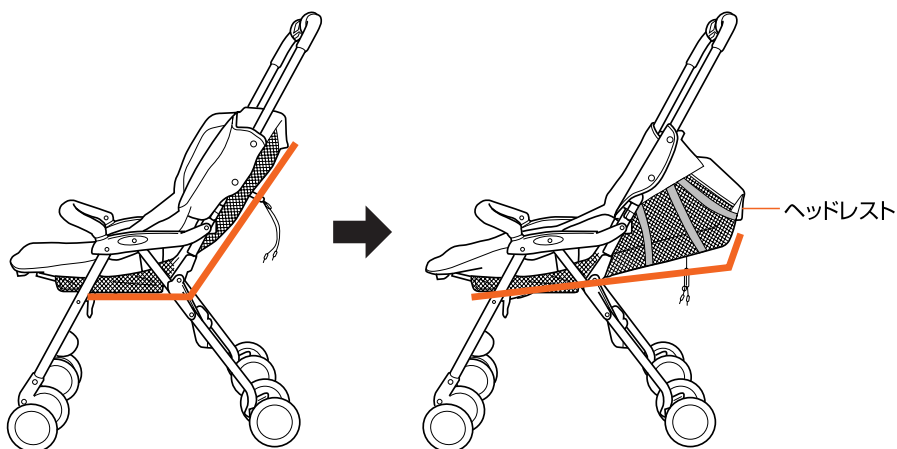
お子さまの体重が背もたれにかかっていないことを確かめてから、リクライニングベルトを左右に引っばります。

※お子さまの体重を背もたれにかけたままでは起こすことはできません。



ムービングヘッドガード機能

※リクライニングを倒すとヘッドレストが連動して起きあがってきます。



2 ウェイ幌の取り扱いかた

2 ウェイ幌は、サイズが2段階調節できる大型幌です。

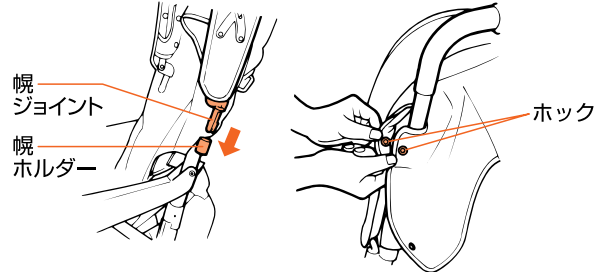


注意

- 保管の際には、幌の変形を防ぐため、横向きにねかせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。

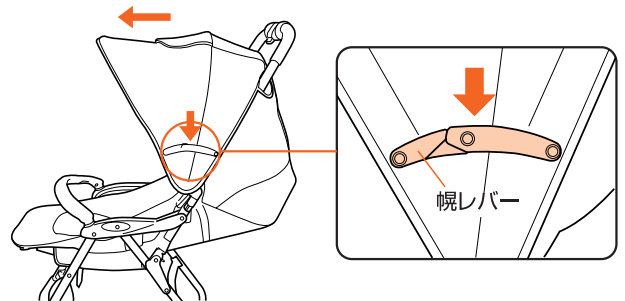


取り付けるときは幌の前後を確かめて、幌ジョイントを幌ホルダーに確実に差し込んでください。
次の図のように左右各2個のホックをとめてください。



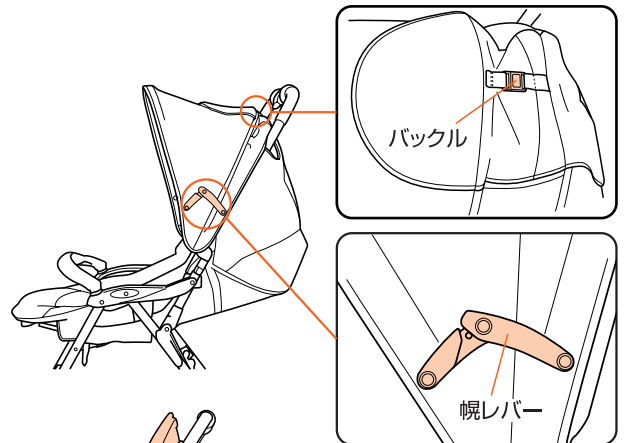
広げかた

1. 幌を前に広げます。
 2. 左右の幌レバーの関節部を押し下げます。
- ※幌レバーの関節部を押し下げた状態が大きいサイズです。



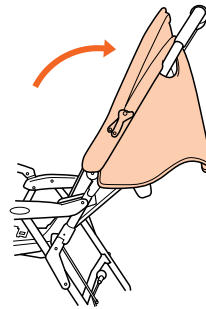
小さくする場合

1. 幌を前に広げます。
2. 幌レバーの関節部を押し下げず、図のような状態にします。
3. 幌後方のバックルでとめると小さいサイズの幌になります。



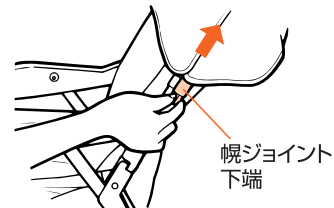
たたみかた

幌レバーの関節部を押し上げ幌を後側にまとめます。



取りはずしかた

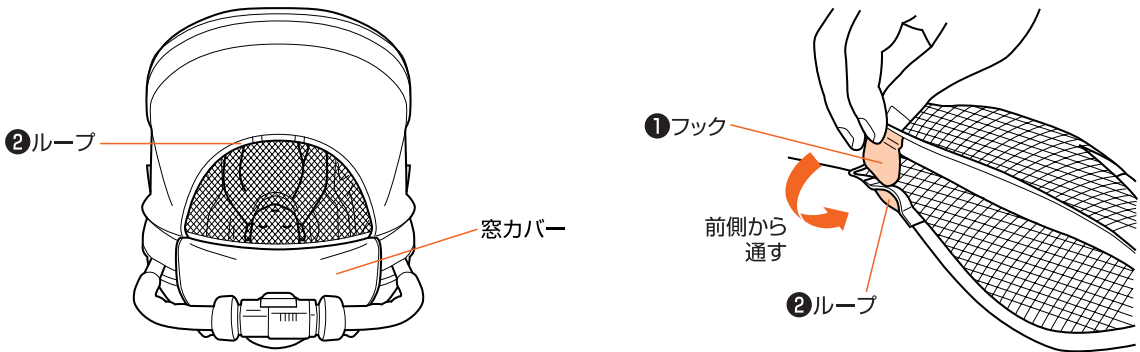
ホックをはずしてから幌ジョイントの下端をつまみながら、引き抜いてはずします。



トップウィンドー（幌窓）の使いかた

窓力バーをめくると赤ちゃんの様子を見ることができます。

窓をとじるときは、①フックを②ループの前側から通してください。



ショルダーストラップの使いかた



警告

●ベビーカーをひろげて使用するときには、必ず買い物カゴに収納してください。障害物などに引っかかって転倒のおそれがあります。



注意

●混雑した場所では、他人の迷惑になることがありますので使用しないでください。

取り付けかた

ベビーカーをひろげた状態で取り付けます。

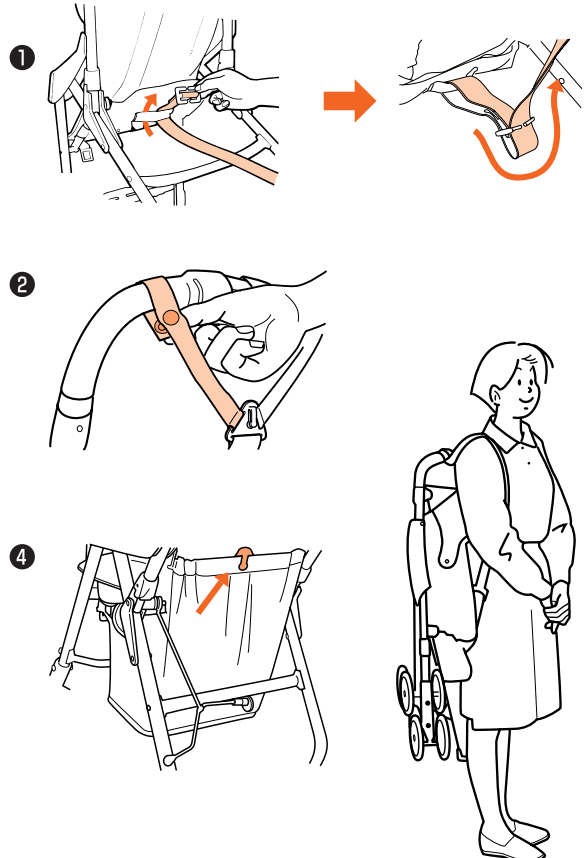
①ショルダーストラップ下端のバックルをベビーカーの座面裏側の固定ベルトに通し、図のようにとめます。（文字のある側が表です。）

②ショルダーストラップの上端の2本のベルトを図のようにハンドルグリップに巻き、ホックでとめます。このとき、ストラップがねじれないように取り付けてください。

このとき、「左右のハンドルグリップに分ける」「右側にまとめる」「左側にまとめる」という取り付け方ができます。肩にかけやすい位置に取り付けてください。

③ベビーカーを折りたたみ、肩にかけやすい長さにバックルで調節します。

④ショルダーストラップを使用しないときは、ハンドルグリップからはずし、買い物カゴの中に収納してください。このとき、三角形のバックルを買い物カゴ上端にかけておくと再び使用する際、取り出しやすくなります。



本体の折りたたみかた



注意

- 手元ロックスライダーは折りたたみ後、必ずロックしてください。また、折りたたみ操作時以外は握らないでください。
- 手元ロックスライダーをずらさずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、一度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむと自立スタンドが出ます。自立スタンドに無理な力を加えたり、持ち運びの際にぶついたり、引きずったりしないようにしてください。自立が不安定になったり破損するおそれがあります。
- 折りたたむ前に、買い物カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。

折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

- ①キャスターを固定し、②幌を後ろにたたみます。

折りたたみかた

本ベビーカーは、2面と3面折りの両方でたたむことができます。

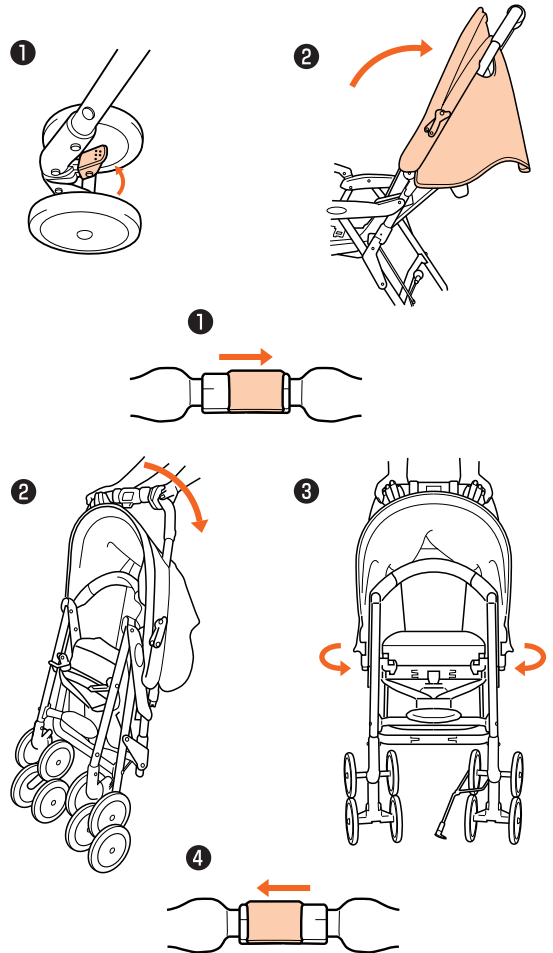
- ①手元ロックスライダーをずらし、ロックを解除します。
- ②折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に後ろに倒すと2面折りができます。
- ③さらに折りたたみレバーから手を放し、左右のハンドルグリップを逆手で持ち、手首を内側に回して折ると、自動フックがかかり3面折りになります。
- ④手元ロックスライダーを図のようにスライドさせてロックします。

※2面、3面どちらの状態でもたたむ場合も必ずロックしてください。

※ご注意

スムーズに折りたためないときはリクライニングを倒した状態で折りたたんでください。それでも折りたたみにくいときには、バックルをはずして折りたたんでください。

また、車体にシートやシートベルトなどをはさみこんでいると折りたためなくなります。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいるものをはずしてください。



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●着脱シートの洗濯

着脱シートは丸洗いができますが、以下の点にご注意ください。

- 着脱シートの洗濯表示に従って洗濯してください。
- 洗濯機を使用する場合は40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分すすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 幌、ソフトサポートベルトカバー、腰ベルト、ガードカバー、買い物カゴの洗濯
- ブラシやスポンジなどを使用し40℃以下の液温で手洗いしてください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

※製品の特性上若干色あせすることがあります。

※洗濯の際は天然脂肪酸をベースとした成分で、蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない「コンビおむつ肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。

車体の清掃について



注意

- 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

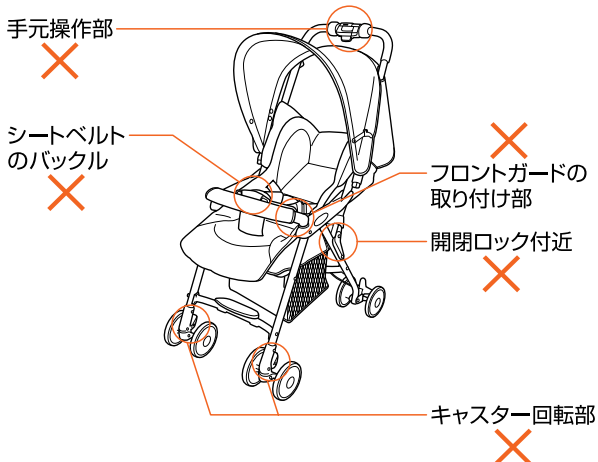
注油について



注意

- お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎるとほこりが付きやすくなったり機能低下させます。注油箇所の泥や汚れはあらかじめふき取ってください。なお下のイラスト箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



保管のしかた



- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管はさけてください。
また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。
故障や変形の原因となります。

- 直射日光をさけ、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にしてねかせてください。

点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、直ちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。
お問い合わせの際は、後脚後側に貼ってあるシールをご覧になって機種名・ロットNoをお知らせください。
コンシューマープラザ(Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271 TEL.(048)797-1000 FAX.(048)798-6109
コンシューマープラザ(Customer Service Center)／西日本担当
〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18 TEL.(06)6536-0456 FAX.(06)6536-4468
- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。
取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分・廃棄してください。
- 地球環境のため、放置はしないでください。

便利なオプション品（別売り）

セーフティ
ベルト

※部品対応となります。



- シート上での抜け出し、立ち上がりを防ぎます。

コンビ
ベビーカー
SS-R

Combi

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマープラザ (Customer Service Center) までご連絡ください。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン

<http://www.combibaby.com>

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

TEL. (06) 6536-0456 FAX. (06) 6536-4468